

第 74 期第 1 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：2018 年 5 月 21 日（月）10：00～12：50

場 所：日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階）

出席：遠山（副委員長）、青柳、市川、糸井、佐野、曹、中本、福島、藤井、細越、山本（以上委員）

板倉、鹿野（以上オブザーバー）

根岸、野秋、宮野、岡村（事務局）

欠席：野尻（委員長）、高安、永廣、藤原、間宮

配布資料：

1. 前回議事録
- 2-1. 夏学共催資料
- 2-2. 夏学メール
- 3-1. インフォーマルミーティング報告
- 3-2. 年会スライド物理学会大規模アンケート
- 4-1. 第 15 期より引継ぎ事項
- 4-2. 第 17 期学協会連絡会幹事タイムスケジュール（案）
- 4-3. 第 16 期第 2 回運営委員会報告
5. 推進委員会だより
- 6-1. 託児室アンケート
- 6-2. 託児室コメント+アンケート結果
- 6-3. 松本市で利用できるシッター会社
- 7-1. 属性調査「第 73 回年次大会」
- 7-2. 属性調査「2017 年秋季大会」
- 7-3. 属性調査「2017 年秋季大会登壇者男女比」（年齢別、領域別）
- 7-4. 属性調査「第 73 回年次大会登壇者男女比」（年齢別、領域別）
8. 分子生物学会調査資料

第 74 期初回につき、自己紹介がされた。野尻委員長が急遽欠席となったので、遠山副委員長が議長を務めた。

1. 前回議事録確認

1 頁目の「案」、「予定」という記述を削除することが確認された。

2. 夏学について

NWEC が 120 万円 夏学実行委員会が 80 万円を用意し、開催できる資金が集まったことが報告された。

予算書によると 30 万円の赤字となる見込みだが、どう補填するのか。

→TA の人数によって予算は変わってくる。ミニマムで計算すると、現在の資金でも開催は可能。

資料に沿って、現在予定しているプログラム等が説明された。

・中高生、TA 女子大生からの要望もあり、「留学に必要な資金」、「〇〇をしたい場合は何を勉強すべきか」、などキャリアプランに向けたより具体的なことを話せる若手の講師も集めている。

・評価委員よりプログラムが詰込過ぎとの意見があったため、今回は夜のプログラムを断念した。

NPO 立ち上げについて、6 月から準備、8 月の夏学終了後に設立する予定であることが説明された。物理学会としては共催でないと資金提供ができないが、夏学側からは後援として支援してほしいとの要望があった。そのため NPO が設立された後は、加盟学協会として分担金を支払う、という形態にしたほうがスムーズに行く可能性が高いことが確認された。

3. 今期の担当と今期の活動について

資料に沿って、2018 年年次大会のランチョンミーティング報告がされ、以下の意見交換がされた。

・日程、開始時間は要検討。(Jr.セッションや他のランチョンミーティングと被らない方がよい)

・宣伝を工夫する必要がある。

→分担して、各領域代表に領域 ML を流すことをお願いするとよい。

・男性の育児に関する情報交換ができるようなトピックを入れてもよいのでは。

→男性育児はまだマイナーで個人、個人ですべて異なるケースになってしまう。

その場合、誰に、何を話してもらうのか、の選定が難しい。

→20 年前の女性研究者が直面していた状況と同じ。毎年、色々なパターンを紹介していくことでよいのでは。

→子育てをして良かったことを話してもらっても良いのでは。

・このランチョンミーティングの主旨は「情報共有」なのか、「仕組みを変えるための働きかけ」なのか。

→まだ初回なので、まずは現状を把握する内容で開催した。2 回ほど開催した段階で、

ランチョンミーティングという形式も含めて、今後、どのようにしていくのが良いか改めて検討するのがよいのではないか。

→シンポジウムよりランチョンミーティングのほうが、委員会の負担はずっと軽い。

次回、年次大会でもランチョンミーティングを実施することが決定された。9月の予算申請までに人数を確定する。

4. 学協会連絡会の幹事学会の進捗報告

3月23日に開催された第16期第2回運営委員会の内容が報告された。

今後の予定について以下の通り確認された。

- ・シンポジウム当日は、次期幹事学会として議事録を取ることが要請される見込み。
- ・17期第1回運営委員会 12月10日(月)に16期委員長が出席可能か確認する(遠山先生)
- ・分担については資料4-2通りとし、次回、さらに詳細な体制を構築することとなった。
- ・お茶大をシンポジウム会場として借りられるかは11月ごろに確定する予定。
- ・今年のシンポジウムで川村会長が挨拶をされることが確認された。
- ・現幹事学会の中では学協会連絡会を法人化するという案も出ているが、これを物理学学会がどのように引き継ぐかは今後検討する。
- ・アンケートの英訳は毎回、依頼している業者に委託し、WGとしてはチェック等を行う。

5. 日本物理学会誌の推進室だよりの原稿の件

議事資料5.の記事が、会誌7月号に掲載されることが報告された。

6. 物理学会の託児室について

事務局 山口職員より2018年年次大会の託児室利用者アンケート結果と、2018年秋季大会の準備状況が報告された。

今後、利用者からのアンケート結果など、情報を蓄積することとなった。

7. 属性調査について

資料が確認された。

5年区切り、会員種別ごとなどで集計をすると、大学院生の状況がより見えてくるのではないかと、また、この資料を領域委員会にも見てもらうと有意義ではないかななどの意見が出された。

8. 分子生物学会の調査について

資料 8 が確認され、会議後回収された。

9. その他

・学会として男女共同参画推進を提唱するのであれば、役員（理事・監事）の女性比率を上げることが必要。理事会に男女共同参画推進委員会からの提案として出すべきではないか、との意見があった。

・男女共同参画推進委員会 HP について

トップページの文章を変更したほうがよい。

物理学会の HP に戻れるようにしたい。

・物理学会 HP のトップに男女共同参画推進委員会ページへのリンクを作成してほしい。

→物理学会HPリニューアルに伴い、メニューを整理し、全ての委員会のリンクを組織図ページにまとめた。

→その構成が分かりにくいので、「組織図・委員会」としてほしい。

→事務局から広報委員長に連絡し対応する。

以上